

夢タウン まつぶし

# 議会だより

第102号

平成30年7月27日発行

## 6月定例議会

- 議会新構成 ..... 2・3P
- 議案 ..... 4P
- 政務活動費報告 ..... 5P
- 10人の議員が「町政」を問う ..... 6~11P

# 4月臨時議会

平成30年4月20日

## 新しい議会構成が決まりました



議長  
川上 力

町民の皆様には日頃より町議会の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび4月20日の臨時議会で議長に就任いたしました川上力でございます。

議会は、町民の皆様の代表として、自治体の意思決定を担う役割があり、その重責に身の引き締まる思いです。

議会の機能を発揮できるように皆様の多様な声に耳を傾けながら、全力で取り組んでまいります。

引き続きご指導、ご協力をお願い申し上げます。



副議長  
松岡 高志

4月の臨時議会におきまして、議員の皆様のご推挙を賜り副議長に就任いたしました。その責務の重さに身が引き締まる思いであります。

今後は副議長の職務を遂行すると共に、議長の補佐役として町政の推進及び議会の公正かつ円滑な運営に努めてまいります。

地方自治体を取り巻く状況は、地方創生等に伴い今まで以上に責任ある議会活動が求められています。

町民の皆様のご望む方向性を的確に把握し諸問題の解決に向け鋭意努力してまいります。

ご支援ご指導を心からお願い申し上げます。

### 選挙の結果

#### 議長選挙

投票数	14票
有効投票	14票
無効投票	0票
川上 力	6票
佐藤 永子	4票
吉田 俊一	2票
長谷川 真也	2票

#### 副議長選挙

投票数	14票
有効投票	14票
無効投票	0票
松岡 高志	9票
平野 千穂	4票
福井 和義	1票

## 総務産業常任委員会



委員長 福井 和義  
副委員長 山崎 隆一郎  
委員 高橋 昭男 堀越 利雄  
長谷川 真也 増田 等  
平野 千穂

## 文教民生常任委員会



委員長 佐藤 永子  
副委員長 吉田 俊一  
委員 荘子 敏一 松岡 高志  
鈴木 勉 田口 義博

## 議会運営委員会



委員長 堀越 利雄  
副委員長 増田 等  
委員 佐藤 永子 吉田 俊一  
荘子 敏一 福井 和義  
松岡 高志

## 監査委員



高橋 昭男

## 一部事務組合議会議員

### ○東埼玉資源環境組合議会（3名）

吉田 俊一 ・ 堀越 利雄 ・ 田口 義博

### ○越谷・松伏水道企業団議会（3名）

川上 力 ・ 松岡 高志 ・ 鈴木 勉

### ○吉川松伏消防組合議会（4名）

佐藤 永子 ・ 長谷川 真也 ・ 増田 等 ・ 平野 千穂

### ○江戸川水防事務組合議会（3名）

福井 和義 ・ 山崎 隆一郎 ・ 平野 千穂

## 議 案

### 松伏町税条例等の一部を改正する条例

#### 《改正内容》

#### 1 個人の町民税の基礎控除の見直し

- ①非課税措置の対象となる障害者、未成年者、寡婦及び寡夫の前年の合計所得金額現行125万円以下⇒135万円以下
- ②控除対象配偶者の名称変更 控除対象配偶者⇒同一生計配偶者
- ③前年の合計所得金額2,500万円を超える所得割の納税義務者は、基礎控除及び調整控除を適用しない。

#### 《主な質疑》

合計所得金額を10万円引き上げると、どのような効果が起きるのか。控除対象配偶者の定義が変わり、均等割の免除が受けられない町民はいるか。

#### 《答弁》

新たに非課税の範囲を広げるということではなく、非課税だった方が改正により対象外となってしまうようにするため。控除対象配偶者を同一生計配偶者と名称を変更するのみ。

#### 2 固定資産税の特例措置の創設

中小企業が生産性向上特別措置法の施行日または本条例の公布日のいずれか遅い日から平成33年3月31日までの間に、同法に規定する認定先端設備等導入計画に従って取得をした機械装置等について、固定資産税の課税標準を3年度間は、その価格に0を乗じた額とする。

#### 《主な質疑》

この固定資産税の特例を受ける事業者を何社と想定しているのか。旧設備との比較で生産性1%以上向上が定義だが、どのように認定するのか。

#### 《答弁》

想定の実業者数は設定していない。設備の種類ごとに担当する工業会等に証明書発行を申請し交付されたものの添付で認定。

### 松伏町学童保育の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

#### 《改正内容》

#### 1 児童指導員の資格要件の明確化

児童指導員の資格要件のうち、学校の教諭となる資格を有する者について、教員免許状の更新を受けていない場合の取扱いを明確にするため、有効な教員免許状を取得した者のみを対象とする。

#### 2 児童指導員の資格要件の拡大

児童指導員の資格要件に、一定の実務経験があり、かつ、町長が適当と認めた者を新設する。

#### 《主な質疑》

児童指導員の資格要件を拡大した市町村はどのくらいあるか。条例の意図は。

#### 《答弁》

近隣では、越谷市、草加市、宮代町。また今後、他の自治体も条例改正していくと予想している。今までの規定でなかなか指導員になれず補助員のままだった方に対し改善をはかるものである。

平成29年度

# 政務活動費報告

## 調査研究・会報

### ◆政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき、町が条例を制定し、松伏町議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付される。

政務活動費は、会派が行う調査研究、研修、会議、資料作成、資料購入、広報、事務等町政の課題及び町民の意思を把握し、町政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な経費に対して交付される。

交付対象……………松伏町議会議員で構成される会派

交 付 額……………月額10,000円×所属議員数

(単位：円)

会派名	収入額	活動支出額	残額 (町へ返還)	主な内容
自民クラブ	600,000	519,404	80,596	行政視察費・会報発行費
町民クラブ	150,000	120,000	30,000	行政視察費・研修費
公明党	240,000	171,004	68,996	行政視察費・資料購入費
日本共産党	240,000	129,050	110,950	会報発行費・資料購入費
無所属クラブ	240,000	172,030	67,970	研修費・資料購入費
新自民クラブ	180,000	120,210	59,790	行政視察費・研修費
自由クラブ	50,000	34,540	15,460	行政視察費

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

※町ホームページに収支報告書、出張調査報告書を掲載していますのでご覧ください。

※参考…5市1町（議員1人あたり）

草加市…年額 60万円    越谷市…年額 96万円    八潮市…年額 20万円  
三郷市…年額 36万円    吉川市…年額 24万円    松伏町…年額 12万円

## 町政に関する

### 一般質問の主題

#### 田口 義博

- 特別職の職員で非常勤のものの選任基準
- 行財政計画と合併
- 町道3号線と町道4号線の整備計画

#### 増田 等

- 経営感覚やコスト意識重視の町財政の運営
- 保育・小一貫教育
- 若い子育て世代が住みたい、住み続けたいと思える施策
- 松伏・田島地区の産業団地内に設置の公園

#### 莊子 敏一

- 通学中の児童生徒の防犯対策
- 発達障害の可能性のある児童生徒への特別な教育的支援

#### 福井 和義

- 健康ウォーキングの推進
- 不登校0を目指して

#### 山崎 隆一郎

- 公共無線Wi-Fi環境整備
- インスタグラムの活用
- ベンチのある町で町興し
- 小学校下校時の防災無線

一般質問の会議録全文は町のホームページから検索できます

#### 松岡 高志

- 通学路の子ども安全対策をどう考えるか
- ごみ減量

#### 長谷川 真也

- 排水路のふた等
- 町営グラウンド
- 町のピーアール
- スクールゾーンの安全
- 道の駅について問う

#### 鈴木 勉

- 嘱託職員の雇止め問題と処遇改善
- 下赤岩地区児童に路線バス活用型・運賃補助方式によるスクールバス運行を

#### 平野 千穂

- ごみ減量への取り組み
- 遊歩道などのベンチ増設、トイレの新設を求める
- 道徳が、今年から小学校、来年度から中学校で教科化される事

#### 吉田 俊一

- 国民健康保険の構造問題について、町はどのように対処していくのか
- 社会保障制度の制度後退につながる制度改悪の動きについて、町として国へ意見を
- 介護保険の利用料負担

## 10人の議員が町政を問う



### 田口 義博 (自民クラブ)

**Q** 今後、合併をどう考える

**A** 財政指数を上げることが責務

**問** 特別職の職員で非常勤のものの選任基準について、町ではどのような選考基準があるのか。

**答** 総務課長 平成10年11月「議会の同意を必要とする委員等の選考基準について」を設け業務の特性に応じて選考している。

**問** 町の財政状況を総合的に表した平成28年度のバランスシート及び財務省の財務状況把握ヒヤリングの結果が報告され、直近8年間の収支は低水準で、資金繰りの状況や債務償還能力に留意すべき状況が続いているという。今後の行財政計画をどのように考えているのか。

**答** 企画財政課長 効果的・効率的な行財政運営を進めるため、今後5年間の中期財政計画を策定する。

**問** 町の公共建築物等の更新費用は、今後40年間で512億円と推計されている。厳しい財政状況の中ではあるが、今後の合併についての考えは。

**答** 町長 町民の方々から合併してほしい意見は認識

している。財政指数を上げることが責務である。東埼玉道路が開通すれば人口減少は止められると思う。5市1町での合併についての議題は出ていないが、例えば駅の整備には80億円が掛かるので、町独自ではできない。それまでには合併の考えを越谷市には伝えていきたい。

**問** 町道4号線の整備計画について。  
**答** 素掘り用水の拡幅整備を検討する。



拡幅整備をまたれる町道4号線



## 増田 等 (自民クラブ)

**Q** 経営感覚コスト意識重視の財政は

**A** 自主財源確保が喫緊の課題の一つ

**問** 自主財源確保、既存資産の有効活用、コスト削減のためにゼロベースで各施策を見直す考えは。

**答** **町長** 東埼玉道路や浦和野田線の開通と合わせて積極的な土地利用策を検討していきたい。

**問** 児童生徒数減少で増加する余裕教室の有効活用は。

**答** **教育総務課長** 少人数指導、特別支援教育の充実のために転用。今後、教育施設以外の活用も研究。

**問** 特産品開発費996万2千円の回収見込みは。

**答** **環境経済課長** 特産品開発は町の認知度向上と魅力発信が目的。開発費の直接回収を目的としていないが、町への経済効果にも期待している。

**問** 松伏町の保育、小学校一貫教育の取り組みは。

**答** **教育長** 保育所、幼稚園、小中学校との連携した教育の成果は他市町と同等以上と考える。一貫教育実現にはカリキュラムの再編成を要する。現時点での最大の教育課題は学力向上であると捉えて

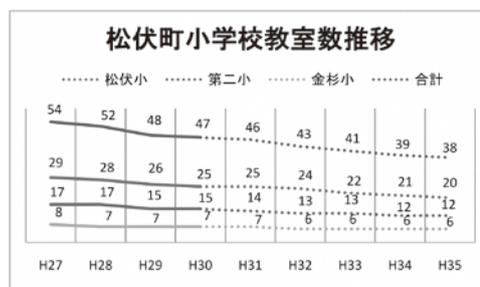
いるので、解決に全力で取り組んでいきたい。

**問** 子育て世代が住みたい、住み続けたい施策は。

**答** **すこやか子育て課長** 子育てしやすく日本一若い町、愛知県長久手市の施策と大差ない。町の各機関同士の連携を密にしてサポートの充実を図る。

**問** 松伏・田島地区の産業団地に設置の公園は。

**答** **新市街地整備課長** 産業団地で働く方々が憩え、また周辺住民の方々の利用を考慮した設計となるよう県と調整していく。



## 莊子 としかず (公明・新自民の会)

**Q** 下校時の送迎を推奨したらどうか

**A** 現状の防犯教育に重点を置く

**問** 通学時の児童生徒を狙った事件が毎年起きている。学校が防犯上危険だと感じている箇所は何カ所か。

**答** **教育総務課長** 松伏小学校では、交通安全・防犯の危険箇所は30~40カ所ある。

**問** 児童生徒が通学時に一人になるケースがどのくらいあるのか。

**答** **教育総務課長** 把握できていない。しかし、一人になるケースは他市町と比較し突出していない。

**問** 松伏町は調整区域が広く、今の答弁を信じがたい。児童生徒が一人になった時の防犯対策は十分か。

**答** **教育総務課長** 100%安全な防犯対策は無い。危険を少しでも減らすために防犯教育を続ける。

**問** 小学校では学童保育も含めて、親が下校時に迎えに来るケースは増えている。学校では、このような状況をどう考えているのか。

**答** **教育総務課長** 下校時の不審者の出没や児童生徒を狙った事件、事故等の報道もあり、保護者の防犯意識も高まっている。保護者の判断で送迎が行われているものと認識している。

**問** 児童の防犯上の安全を考えたとき、下校時は親が迎えに来てもらうのを推奨したらどうか。

**答** **教育総務課長** 徒歩で子どもたちだけで登下校するのも意義がある。教育委員会では、引き続き防犯教育を実施し推奨することで安全の確保を図っていく。



下校時の親の送迎は増えている(金杉小学校前)



## 福井 和義 (無所属クラブ)

**Q** 健康ウォーキングの推進

**A** ウォーキングは健康増進に効果的

**問** 4月9日松伏町の各小学校で入学式が行われた。新1年生が94年後、クラス会を行うと70%の人が参加する。このクラス会に歩いて参加できるようにするには、日頃から健康・体力づくりが必要である。群馬県中之条町は、15年以上にわたって、1日の生活行動を追跡調査して「1日8千歩」という指標がある。松伏町には、ウォーキングコースが7箇所あり、ウォーキングマップも発刊されている。健康ウォーキングについて町の考えは。

**答** **すこやか子育て課長** ウォーキングは、いつでもどこでも手軽に取り組める運動で、生活習慣病予防や健康増進に効果的であると考えます。

**問** 不登校0をめざして、「調子が悪くなったので、明日は学校に行けるよ、お母さん。」今朝は、いつもより早く起き、ご飯も食べ、さあ学校に行こう。しかし、登校時間になると急におなか痛くなり、トイレに行く。なかなかトイレから出てこない。結局、今日

も休むことになった。不登校を0にするには、多様な個性を認め合えること。教育委員会は、どのような考えか。

**答** **教育総務課長** 学校からの月例報告などで不登校の状況を把握し、不登校の解消をする。



桜吹雪の中を歩ける桜コース



## 山崎 隆一郎 (公明・新自民の会)

**Q** 下校時児童生徒による放送可能か

**A** 2学期中の開始を目標

**問** 児童たちの安全の為に、下校時の放送は注意喚起を促し、見守る体制作りには大変に好感を覚える。先日町民の方から、あの放送は「見守りをお願いします。」ばかりで、「ありがとう」の言葉の放送が無いとの指摘を受けた。確かに、放送内容の中に「ありがとうございます」の言葉は放送されない。いつもの感謝の意味を込めて、「いつも見守りをありがとう」の言葉を児童生徒の声での放送が出来ないかを問う。

**答** **教育総務課長** 保護者の了解を得るなど、学校と連絡調整を図りながら、具体的には2学期中の開始を目標に、実現できるよう準備を進めて行く。

**問** 公共無線Wi-Fi環境整備について問う。

**答** **新市街地整備課長** 県営まつぶし緑の丘公園内の管理センターには、昨年度にWi-Fi環境が整備されて一般に無料開放している。

**問** ベンチがあると、心に潤い、人との繋がり、体の

健康を町民に与える。そしてベンチのある幸せの町になると考えるのが、「ベンチによる町興し」先日役場の雑木林に、町民からの寄付で木製ベンチを設置した。さらに公園や遊歩道などにより多くのベンチを設置出来ないか問う。

**答** **総務課長** 設置者責任として、ベンチそのものの安全性をどのようにクリアするかなどの課題もあるので、しっかりと調査して行く。



役場に寄贈された木製ベンチ



## 松岡 高志 (自民クラブ)

**Q** 通学路の子どもの安全対策を

**A** 関係機関と調整しながら進める

**問** 今年度、町道3号線の八枚橋から県道春日部松伏線までの町道を拡幅し歩道整備事業が始まる。また、新たに誘致した企業の操業が始まり交通量の増大が見込まれる。通学路でもある町道3号線と交差している各町道の安全対策をどう考えるか。

**答** **まちづくり整備課長** 町道3号線の整備後は、歩道と車道が分離され、児童の安全確保が図られる。児童が町道3号線を横断する交差点については、横断歩道の整備が必要と考えている。今後、警察署と調整し設置に向けた協議をしていく。

**問** 東久留米市では、民間企業の協力を得て、市の負担なく、小学校の通学路に防犯カメラを設置する。松伏町でも同様な取り組みができるか。

**答** **総務課長** 防犯カメラは防犯効果も期待できるが、防犯カメラで町を見守ろうとすると、相当な数になる。東久留米市と同様な取り組みは、今後慎重に調査・研究していく。防犯カメラを設置することも必要であると考えているところから、9月か

ら始まる県の防犯サポータ制度などをしっかり調査・研究して、今後対応していきたい。

**問** ごみ減量、10%削減について問う。

**答** **町長** 10%削減は大変ではあるが、枝木の搬入だけで松伏町は年間を通して10%あり、そこをどうにかすることで可能と思う。未来の子供たちのため、努力する気持ちを町全体で共有していきたい。



拡幅された町道745号線と3号線の通学路交差点



## 長谷川 真也 (町民クラブ)

**Q** 危険な排水路の対応を問う

**A** 必要に応じ安全対策を行う

**問** 排水路のふたが歩道になっている危険個所の対応を問う。

**答** **まちづくり整備課長** 排水路のふたが歩道として利用されている箇所を確認したところ、水路へのふたかけも含め、10か所ほどありました。松葉地区内の2路線に段差が数か所あることを確認した。この段差は、解消を図っていく。

**問** スクールゾーンに住んでいる方々の対応を問う。

**答** **総務課長** 現在、町ではスクールゾーンに面する住民の方に対し、許可証の取得について周知は行っていない。今後、吉川警察と協議しながら、町で有効に許可証の申請をするよう通知を発出することが適切かどうかも含めて、相談する。

**問** 越谷市も増林地区に道の駅をつくる予定があると聞いている。距離的にも近い場所だと思うが町では、どう考えるか問う。

**答** **新市街地整備課長** 道の駅の開業後の運営におい

ては、近隣の道の駅同士が連携した来客の促進策の実施という取り組みも想定されこのため、道の駅同士の競争の視点だけではなく、道の駅同士の連携と言った視点も持ち合わせていく必要があると考えている。

**町長** 決して近くに道の駅がいくつかできたからといって、マイナスには、考えない。越谷の道の駅で半日遊んで、松伏町で半日遊んで帰れば、1日東部地区で遊べるような地域づくりが逆にできるのではないかとこの形で連携をとっていきたい。



段差のある排水路



## 鈴木 勉 (無所属クラブ)

**Q** 遠距離通学児童に路線バス活用を

**A** 必要性ない 徒歩通学で体力つけて

**問** 下赤岩地区児童は、最も遠い岩平地区で1時間近い徒歩通学となっている。同地区から松伏小学校の区間は、路線バスが運行されており、スクールバスの代替として路線バス活用型・運賃補助方式による児童の送迎を実施することにより、遠距離通学問題の解決が図られる。町の見解は。

**答** **教育総務課長** 国の基準として適正な通学距離が示されている。小学校ではおおむね4キロ以内という基準がある。松伏町では、すべての地区が基準内である。徒歩で集団登校することのメリットもあり、健康増進、強い体と心を育てることができ、集団登校により上級生が下級生を見守りながら登校することで、正しい心、優しい心が育まれる。しかし、距離が長いことによるデメリットも当然あることも理解している。保護者の皆様の要望があることも承知しておりますが、現行の徒歩での通学を続けていきたいと考えている。

**問** 下赤岩の場合は、路線バスの活用で対応できる。

その必要性も感じていないということか。

**答** **町長** 感じていない。

**問** 保護者の方の強い要望もある。一つの案として下校時のみ路線バス活用という方法もあるが、それも必要性はないと考えているのか。

**答** **町長** 体力をつけながら徒歩通学してほしいという認識である。



1時間近く徒歩で通学する下赤岩岩平地区の児童



## 平野 千穂 (日本共産党)

**Q** ごみ減量へ予算つけた取り組みを

**A** 導入可能な制度を研究していく

**問** 1人当たりのごみ量が、東埼玉資源環境組合の中で5市は毎年減量しているが、当町だけここ数年増え、ピーク時に近い量となっている。ごみ減量のため庭木の剪定枝・刈草・落葉を①各家庭が堆肥化施設に持ち込めるよう軽トラックの貸出しを行えないか。②予約制で町が回収を行えないか。③ペットボトルは、リサイクルのため回収している量より多い量のごみとして出されている。月1回の回収を2回に増やせないか。④町内で白色トレイ等の店頭回収をしているスーパーは、2店舗のみ。未回収の店舗等に協力要請を行えないか。

**答** **環境経済課長** ②細分別・再処理する場合の作業場や置場不足の課題があり、すぐ実施とはいかないが、収集体制を含めごみの減量化やリサイクルの推進施策の手段として検討していく。③費用対効果や今後の排出量の推移で判断していく。役場等6か所の公共施設に拠点回収ボックスを設置している事を改めて広報紙等で周知する。④費用や近隣市の動向等を踏まえ、平成31年度に予定している次期分別収集計画策定時に研究していく。

**答** **町長** ①剪定枝の量が一番多い5月だけでも堆肥化施設に持ち込みできれば10%削減に近づく。③各家庭がストックする意識を高める方が先決。④すばらしいアイデア。検討していく。

他「遊歩道などのベンチの増設、トイレの新設を求める」、「道徳の教科化について」質問した。



剪定枝などの堆肥化施設 (東埼玉資源環境組合)



## 吉田 俊一（日本共産党）

**Q** 子どもに対する国保税の減免を

**A** 他市町の状況、試算等し検討する

**問** 平成30年度から県と市町村の共同運営となった国民健康保険。県知事会などが中心に国の公費投入（1兆円）を求めてきた結果、広域化に伴う国保税値上げがないように、一定額の公費投入が行われた。保険料・保険税の比較をすると、中小企業のサラリーマンが加入する「協会けんぽ」とくらべ、子どものいる世帯の負担は1.9倍という状況である。町としてどのように認識しているのか。

**答** **住民ほけん課長** 被保険者の構成、所得層の違いから協会けんぽ保険料と国民健康保険税について違いがあると認識している。

**問** 高すぎる国保税負担軽減について、特に子育て世帯の負担（子どもへの課税）は国保の構造的な問題の一つである。国へ改善を求めるとあわせ、町として減免に取り組めないのか。

**答** **町長** 杉戸町は多子世帯の減免（第3子以上）を行うとの報道を見た。他市の状況を研究し、検討したい。

**問** 3人目からでなく、松伏町は1人目から助成するという意気込みで取り組んでほしい。

**答** **町長** シュミレーションをはじき出してみたい。

給与年収400万円家族の国保税・保険料 子ども的人数による比較

給与所得者本人30歳代・妻30歳代専業主婦・子ども1～3人

	町国民健康保険税	埼玉県協会けんぽ	比較
子ども1人	341,700 円 *1	200,940 円	1.70 倍
子ども2人	379,500 円	200,940 円	1.89 倍
子ども3人	379,500 円 *2	200,940 円	1.89 倍

\*1 国保税均等割・子ども1人につき 3万7800円

\*2 年収400万円 子ども3人世帯は、法定軽減(均等割2割軽減)に該当

## 意見書

### 旧優生保護法により不妊手術の被害者救済を求める意見書

厚生労働省によると、旧優生保護法のもとで不妊手術を受けた障がい者らは約25,000人。このうち、本人の同意なしに不妊手術を施されたのは16,475人と報告されている。

1. 国は、速やかに旧優生保護法に基づく不妊手術の実態調査を行うこと。
2. その際、都道府県の所有する優生保護審査会の資料などの保全を図るとともに、資料保管状況の調査を行うこと。あわせて、個人が特定できる資料について、当事者の心情に配慮しつつ、できる限り幅広い範囲で収集できるよう努めること。
3. 旧法改正から20年以上が経過しており、関係者の高齢化が進んでいることから、的確な救済措置を一刻も早く講じること。

全議員賛成で可決された。

「生活保護基準の引き下げに反対する意見書」と「特別養護老人ホーム整備事業者募集の早期開始を求める決議」は否決された。

	<b>6月議会・傍聴者数</b>	
	6月5日(火)	2名
	6月7日(木)	6名
	6月8日(金)	3名
	6月11日(月)	10名
	6月13日(水)	2名
<b>合計</b>		<b>23名</b>

**傍聴者の声** (敬称略)

(抜粋です)

- 安全な町宣言を出せるよう通学中の児童生徒の防犯対策に万全を期していただきたい。(東城)
- 健康長寿のため具体的なウォーキングイベント推進を。例えば歴史的散歩など。(東城)
- ゴミの1人あたりの排出量が5市1町で松伏町が一番多いということ。経費もかかるという事を知り、ゴミの分別を今以上に気をつけていこうと思いました。(浦沢)
- ゴミ減量の分別を、もっとしっかり実施すれば良いと思う。トレイの回収も町でやっていただければありがたい。検討してほしい。(山根)

**議会広報発行特別委員会**



平野 千穂

鈴木 勉

川上 力

掘越 利雄  
副委員長

高橋 昭男  
委員長

田口 義博

増田 等

山崎 隆一郎

**【編集後記】** 高橋 昭男

今月の議会だよりから新しい広報委員でスタートします。町民の皆様、予算が町民のために的確に執行されているかどうかチェックする。予算が決算を踏まえて計上されているかどうかチェックする。

さらに、重要施策の東埼玉道路、田島地区産業団地事業、道の駅構想等を随時お知らせします。

議会活動の議案の質疑、一般質問、常任委員会活動を読みやすい、解りやすい紙面を作ってまいります。

- 議 長 川上 力
- 議会広報発行特別委員会
- 委員長 高橋 昭男
- 副委員長 掘越 利雄
- 委 員 鈴木 勉
- 委 員 田口 義博
- 委 員 増田 等
- 委 員 山崎 隆一郎
- 委 員 平野 千穂